

【基礎研修】 公表するシラバス

必須項目	項目	内容
○	1 教科名	サービス提供の基本的な考え方
○	2 国が定める標準カリキュラム上の科目名	サビ營：同上
		児発營：支援提供の基本的な考え方
	3 関連する研修目標	①本人主体の支援方法を理解すること
○	4 担当講師名	富田 政義
○	5 担当講師略歴	別紙17 参照
○	6 時間数	60分
○	7 到達目標	サービス提供の基本的な考え方として、利用者主体の視点、自立支援の視点、エンパワメントの視点、ICFの視点、現実的な支援計画に基づくサービス提供、連携の必要性等について理解する
○	8 教科の概要	担当講師から講義を行っていただき、上記の到達目標に関連した講義を行っていただく。
○	9 授業方法	動画による講義
○	10 授業計画	講義 60分
	11 準備学習	
	12 教科書・参考書	
	13 注意事項	
	14 参照リンク	

注) ・「2 関連する研修目標」は、次のうち、関連のある目標を選んで記載すること。
 複数ある場合は、より関連の強い目標を一つ記載すること。

- ①本人主体の支援方法を理解すること
- ②事業所におけるサービス提供のプロセスとそこで果たすべきサービス管理責任者等の役割を理解すること
- ③支援提供職員及び関係機関と連携した支援方法を理解すること

【基礎研修】 公表するシラバス

必須項目	項目	内容
○	1 教科名	サービス提供のプロセス
○	2 国が定める標準カリキュラム上の科目名	サビ管：同上
		児発管：支援提供のプロセス
	3 関連する研修目標	②事業所におけるサービス提供のプロセスとそこで果たすべきサービス管理責任者等の役割を理解すること
○	4 担当講師名	富田 政義
○	5 担当講師略歴	別紙17 参照
○	6 時間数	90分
○	7 到達目標	P D C A サイクルによるサービス内容を確認することの重要性とその方法、個別支援計画の意義を理解する。
○	8 教科の概要	担当講師から講義を行っていただき、上記の到達目標に関連した講義を行っていただく。
○	9 授業方法	動画による講義
○	10 授業計画	講義 90分
	11 準備学習	
	12 教科書・参考書	
	13 注意事項	
	14 参照リンク	

注) ・「2 関連する研修目標」は、次のうち、関連のある目標を選んで記載すること。

複数ある場合は、より関連の強い目標の一つ記載すること。

- ①本人主体の支援方法を理解すること
- ②事業所におけるサービス提供のプロセスとそこで果たすべきサービス管理責任者等の役割を理解すること
- ③支援提供職員及び関係機関と連携した支援方法を理解すること

【基礎研修】 公表するシラバス

必須項目	項目	内容
○	1 教科名	サービス等利用計画と個別支援計画の関係
○	2 国が定める標準カリキュラム上の科目名	サビ管：同上
		児発管：障害児支援利用計画と個別支援計画の関係
	3 関連する研修目標	②事業所におけるサービス提供のプロセスとそこで果たすべきサービス管理責任者等の役割を理解すること
○	4 担当講師名	富田 政義
○	5 担当講師略歴	別紙17 参照
○	6 時間数	90分
○	7 到達目標	サービス等利用計画における総合的な援助方針を導き出すプロセスを理解し、個別支援計画の出発点がサービス等、利用計画の総合的な援助方針であることを認識する。また、サービス等利用計画が生活全体の範囲に及び、個別支援計画が生活全体をイメージしながらも事業所内サービスに重点を置いた計画であることを理解する。
○	8 教科の概要	担当講師から講義を行っていただき、上記の到達目標に関連した講義を行っていただく。
○	9 授業方法	動画による講義
○	10 授業計画	【講義 90分内訳】・制度上のサービス等利用計画〔障害児支援利用計画〕と個別支援計画の理解（30分）・実務におけるサービス等利用計画〔障害児支援利用計画〕と個別支援計画の理解（30分）・ニーズを踏まえて社会モデルを考慮する「総合的な援助の方針」（30分）
	11 準備学習	
	12 教科書・参考書	
	13 注意事項	
	14 参照リンク	

注) ・「2 関連する研修目標」は、次のうち、関連のある目標を選んで記載すること。

複数ある場合は、より関連の強い目標を一つ記載すること。

- ①本人主体の支援方法を理解すること
- ②事業所におけるサービス提供のプロセスとそこで果たすべきサービス管理責任者等の役割を理解すること
- ③支援提供職員及び関係機関と連携した支援方法を理解すること

【基礎研修】 公表するシラバス

必須項目	項目	内容
○	1 教科名	サービス提供における利用者主体のアセスメント
○	2 国が定める標準カリキュラム上の科目名	サビ營：同上
		児発營：支援提供における利用者主体のアセスメント
	3 関連する研修目標	①本人主体の支援方法を理解すること
○	4 担当講師名	富田 政義
○	5 担当講師略歴	別紙17 参照
○	6 時間数	150 分
○	7 到達目標	サービス提供における利用者を主体としたアセスメントの考え方やその手法について理解する。また、障がい種別や各ライフステージ、各サービスにおいて留意すべき視点について理解する。
○	8 教科の概要	担当講師から講義を行っていただき、上記の到達目標に関連した講義を行っていただく。
○	9 授業方法	動画による講義
○	10 授業計画	【講義 150 分 内訳】 ・サービス種類、概要（15分） ・介護分野（30分） ・生活支援分野（30分） ・就労分野（30分） ・児童分野（30分） ・利用者主体のアセスメント（15分）
	11 準備学習	
	12 教科書・参考書	
	13 注意事項	
	14 参照リンク	

注) ・「2 関連する研修目標」は、次のうち、関連のある目標を選んで記載すること。

複数ある場合は、より関連の強い目標を一つ記載すること。

- ①本人主体の支援方法を理解すること
- ②事業所におけるサービス提供のプロセスとそこで果たすべきサービス管理責任者等の役割を理解すること
- ③支援提供職員及び関係機関と連携した支援方法を理解すること

【基礎研修】 公表するシラバス

必須項目	項目	内容
○	1 教科名	個別支援計画作成のポイントと作成手順
○	2 国が定める標準カリキュラム上の科目名	同上
	3 関連する研修目標	①本人主体の支援方法を理解すること
○	4 担当講師名	富田 政義
○	5 担当講師略歴	別紙17 参照
○	6 時間数	60分
○	7 到達目標	個別支援計画の作成におけるポイントと手順についての事例等を活用し、作成の視点がリスクマネジメントのみに陥らないように、エンパワメントの視点やストレングスの活用について理解するとともに、作成の手順を習得する。
○	8 教科の概要	担当講師から講義を行っていただき、上記の到達目標に関連した講義を行っていただく。
○	9 授業方法	動画による講義
○	10 授業計画	講義 60分
	11 準備学習	
	12 教科書・参考書	
	13 注意事項	
	14 参照リンク	

注) ・「2 関連する研修目標」は、次のうち、関連のある目標を選んで記載すること。

複数ある場合は、より関連の強い目標を一つ記載すること。

- ①本人主体の支援方法を理解すること
- ②事業所におけるサービス提供のプロセスとそこで果たすべきサービス管理責任者等の役割を理解すること
- ③支援提供職員及び関係機関と連携した支援方法を理解すること

【基礎研修】 公表するシラバス

必須項目	項 目	内 容
○	1 教科名	個別支援計画の作成
○	2 国が定める標準カリキュラム上の科目名	同上
	3 関連する研修目標	②事業所におけるサービス提供のプロセスとそこで果たすべきサービス管理責任者等の役割を理解すること
○	4 担当講師名	富田 政義、加藤慎治、畠中道博
○	5 担当講師略歴	別紙17 参照
○	6 時間数	315 分
○	7 到達目標	モデル事例を活用したグループワークにより、サービス等利用計画に示される総合的な援助方針、長期目標及び短期目標を踏まえて、個別支援計画の支援内容、担当者、連携の頻度等について検討する。それに基づき、支援目標、支援内容を設定し、個別支援計画を作成する。
○	8 教科の概要	モデル事例に基づいてグループワークを活用し、個別支援計画を作成していく。
○	9 授業方法	演習
○	10 授業計画	演習 315 分
	11 準備学習	
	12 教科書・参考書	
	13 注意事項	
	14 参照リンク	

注) ・「2 関連する研修目標」は、次のうち、関連のある目標を選んで記載すること。

複数ある場合は、より関連の強い目標を一つ記載すること。

- ①本人主体の支援方法を理解すること
- ②事業所におけるサービス提供のプロセスとそこで果たすべきサービス管理責任者等の役割を理解すること
- ③支援提供職員及び関係機関と連携した支援方法を理解すること

【基礎研修】 公表するシラバス

必須項目	項目	内容
○	1 教科名	個別支援計画の実施状況の把握（モニタリング）及び記録方法
○	2 国が定める標準カリキュラム上の科目名	同上
	3 関連する研修目標	②事業所におけるサービス提供のプロセスとそこで果たすべきサービス管理責任者等の役割を理解すること
○	4 担当講師名	富田 政義、加藤慎治、畠中道博
○	5 担当講師略歴	別紙17 参照
○	6 時間数	180分
○	7 到達目標	モデル事例を活用したグループワークにより、事業者が提供している支援のモニタリングについて、サービス等利用計画との連動性を念頭に置きながら、視点・目的・手法等を理解する。
○	8 教科の概要	モデル事例に基づいてグループワークを活用し、モニタリングについてその視点・目的・手法を理解する。
○	9 授業方法	演習
○	10 授業計画	演習 180分
	11 準備学習	
	12 教科書・参考書	
	13 注意事項	
	14 参照リンク	

注) ・「2 関連する研修目標」は、次のうち、関連のある目標を選んで記載すること。

複数ある場合は、より関連の強い目標を一つ記載すること。

- ①本人主体の支援方法を理解すること
- ②事業所におけるサービス提供のプロセスとそこで果たすべきサービス管理責任者等の役割を理解すること
- ③支援提供職員及び関係機関と連携した支援方法を理解すること

【実践研修】 公表するシラバス

必須項目	項目	内容
○	1 教科名	障がい者福祉施策の最新の動向
○	2 国が定める標準カリキュラム上の科目名	障がい者福祉施策（児童福祉施策）の最新の動向
	3 関連する研修目標	②事業所におけるサービス提供のプロセスとそこで果たすべきサービス管理責任等の役割を理解すること
○	4 担当講師名	北海道保健福祉部福祉局障がい者保健福祉課 担当職員
○	5 担当講師略歴	別紙17 参照
○	6 時間数	60分
○	7 到達目標	障がい者福祉施策及び児童福祉施策の最新の動向にを学び、利用者の制度的環境の変化を理解する。
○	8 教科の概要	北海道障がい者保健福祉課の担当職員から、上記の到達目標に関連した講義を行っていただく。
○	9 授業方法	動画による講義ろー、確認テスト
○	10 授業計画	講義 60分
	11 準備学習	
	12 教科書・参考書	
	13 注意事項	
	14 参照リンク	

注) ・「2 関連する研修目標」は、次のうち、関連のある目標を選んで記載すること。

複数ある場合は、より関連の強い目標を一つ記載すること。

- ①本人主体の支援方法を理解すること
- ②事業所におけるサービス提供のプロセスとそこで果たすべきサービス管理責任者等の役割を理解すること
- ③支援提供職員及び関係機関と連携した支援方法を理解すること

【実践研修】 公表するシラバス

必須項目	項目	内容
○	1 教科名	サービス担当者会議等におけるサービス管理責任者等の役割
○	2 国が定める標準カリキュラム上の科目名	サービス担当者会議等におけるサービス管理責任者（児童発達支援管理責任者）の役割（多職種連携や地域連携の実践的事例からサービス担当者会議のポイントの整理）
	3 関連する研修目標	①本人主体の支援方法を理解すること
○	4 担当講師名	富田 政義、加藤慎治、畠中道博
○	5 担当講師略歴	別紙17 参照
○	6 時間数	50分
○	7 到達目標	多職種連携や地域連携の実践事例を活用し、サービス担当者会議等におけるサービス管理責任者の役割（相談支援専門員との連携や関係機関との連携方法）について理解する。
○	8 教科の概要	担当講師から講義を行っていただき、上記の到達目標に関連した講義を行っていただく。
○	9 授業方法	動画による講義、確認テスト
○	10 授業計画	講義 50分
	11 準備学習	
	12 教科書・参考書	
	13 注意事項	
	14 参照リンク	

注) ・「2 関連する研修目標」は、次のうち、関連のある目標を選んで記載すること。

複数ある場合は、より関連の強い目標を一つ記載すること。

- ①本人主体の支援方法を理解すること
- ②事業所におけるサービス提供のプロセスとそこで果たすべきサービス管理責任者等の役割を理解すること
- ③支援提供職員及び関係機関と連携した支援方法を理解すること

【実践研修】 公表するシラバス

必須項目	項目	内容
○	1 教科名	(自立支援)協議会を活用した地域課題の解決に向けた取り組み
○	2 国が定める標準カリキュラム上の科目名	(自立支援)協議会を活用した地域課題の解決に向けた取り組み(講義)
	3 関連する研修目標	③支援提供職員及び関係機関と連携した支援方法を理解すること
○	4 担当講師名	富田 政義、加藤慎治、畠中道博
○	5 担当講師略歴	別紙17 参照
○	6 時間数	50分
○	7 到達目標	・(自立支援)協議会の意義、目的、活動内容等について理解する。 ・サービス管理責任者、児童発達支援管理責任者の業務を通して見出される地域課題を解決するための(自立支援)協議会の活用について実践報告等により学ぶ。
○	8 教科の概要	担当講師から講義を行っていただき、上記の到達目標に関連した講義を行っていただく。
○	9 授業方法	動画による講義、確認テスト
○	10 授業計画	講義 50分
	11 準備学習	
	12 教科書・参考書	
	13 注意事項	
	14 参照リンク	

注) ・「2 関連する研修目標」は、次のうち、関連のある目標を選んで記載すること。

複数ある場合は、より関連の強い目標を一つ記載すること。

- ①本人主体の支援方法を理解すること
- ②事業所におけるサービス提供のプロセスとそこで果たすべきサービス管理責任者等の役割を理解すること
- ③支援提供職員及び関係機関と連携した支援方法を理解すること

【実践研修】 公表するシラバス

必須項目	項目	内容
○	1 教科名	モニタリングの方法
○	2 国が定める標準カリキュラム上の科目名	モニタリングの方法（講義・演習）
	3 関連する研修目標	①本人主体の支援方法を理解すること
○	4 担当講師名	富田 政義、加藤慎治、畠中道博
○	5 担当講師略歴	別紙17 参照
○	6 時間数	120 分
○	7 到達目標	事業所のモニタリングについて、サービス等利用計画との連動性を念頭に置きながら、モニタリングの視点・目的・手法等について講義により理解する。事例を通じて、モニタリングの演習を行い、その手法を獲得する。
○	8 教科の概要	担当講師から講義を行っていただき、上記の到達目標に関連した講義、グループワークによる演習
○	9 授業方法	講義、演習
○	10 授業計画	モニタリングの視点・目的・手法等について講義 グループワークを中心とする演習
	11 準備学習	
	12 教科書・参考書	
	13 注意事項	
	14 参照リンク	

注) ・「2 関連する研修目標」は、次のうち、関連のある目標を選んで記載すること。
複数ある場合は、より関連の強い目標を一つ記載すること。

- ①本人主体の支援方法を理解すること
- ②事業所におけるサービス提供のプロセスとそこで果たすべきサービス管理責任者等の役割を理解すること
- ③支援提供職員及び関係機関と連携した支援方法を理解すること

【実践研修】 公表するシラバス

必須項目	項目	内容
○	1 教科名	個別支援会議の運営方法
○	2 国が定める標準カリキュラム上の科目名	個別支援会議の運営方法（講義・演習）
	3 関連する研修目標	②事業所におけるサービス提供のプロセスとそこで果たすべきサービス管理責任者等の役割を理解すること
○	4 担当講師名	富田 政義、加藤慎治、畠中道博
○	5 担当講師略歴	別紙17 参照
○	6 時間数	270 分
○	7 到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ・ 個別支援会議の意義、進行方法、会議において行うべき事項（個別支援計画作成時、モニタリング時）等について講義により理解する。 ・ 個別支援会議における合意形成過程について、模擬個別支援会議の実施体験演習を通じて、サービス管理責任者等としての説明能力を獲得する。 ・ 模擬個別支援会議の体験をもとに、個別支援会議におけるサービス管理責任者等の役割についてグループワーク等により討議し、まとめる。
○	8 教科の概要	担当講師から講義を行っていただき、上記の到達目標に関連した講義、グループワークによる演習
○	9 授業方法	講義、演習
○	10 授業計画	個別支援会議の意義等の講義 グループワークによる演習
	11 準備学習	
	12 教科書・参考書	
	13 注意事項	
	14 参照リンク	

注) ・「2 関連する研修目標」は、次のうち、関連のある目標を選んで記載すること。

複数ある場合は、より関連の強い目標を一つ記載すること。

- ①本人主体の支援方法を理解すること
- ②事業所におけるサービス提供のプロセスとそこで果たすべきサービス管理責任者等の役割を理解すること
- ③支援提供職員及び関係機関と連携した支援方法を理解すること

【実践研修】 公表するシラバス

必須項目	項目	内容
○	1 教科名	サービス提供職員への助言・指導について
○	2 国が定める標準カリキュラム上の科目名	サービス提供職員への助言・指導について（講義・演習）
	3 関連する研修目標	③支援提供職員及び関係機関と連携した支援方法を理解すること
○	4 担当講師名	富田 政義、加藤慎治、畠中道博
○	5 担当講師略歴	別紙17 参照
○	6 時間数	90 分
○	7 到達目標	・ サービス提供職員への支援内容、権利擁護・法令遵守等に関する確認や助言・指導を適切に実施するための方法等について講義により理解する。 ・ 講義を踏まえて、受講者が事業所において実施している助言・指導業務について、グループワーク等により振り返るとともに、今後の取り組み方について討議する。
○	8 教科の概要	担当講師から講義を行っていただき、上記の到達目標に関連した講義、グループワークによる演習
○	9 授業方法	講義、演習
○	10 授業計画	講義、演習
	11 準備学習	
	12 教科書・参考書	
	13 注意事項	
	14 参照リンク	

注) ・「2 関連する研修目標」は、次のうち、関連のある目標を選んで記載すること。
複数ある場合は、より関連の強い目標を一つ記載すること。

- ①本人主体の支援方法を理解すること
- ②事業所におけるサービス提供のプロセスとそこで果たすべきサービス管理責任者等の役割を理解すること
- ③支援提供職員及び関係機関と連携した支援方法を理解すること

【実践研修】 公表するシラバス

必須項目	項目	内容
○	1 教科名	実地教育としての事例検討会の進め方
○	2 国が定める標準カリキュラム上の科目名	実地教育としての事例検討会の進め方（講義・演習）
	3 関連する研修目標	③支援提供職員及び関係機関と連携した支援方法を理解すること
○	4 担当講師名	富田 政義、加藤慎治、畠中道博
○	5 担当講師略歴	別紙17 参照
○	6 時間数	120 分
○	7 到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ・事例検討会の目的、方法、効果等について講義により理解する。また、事例検討会の実施がチームアプローチの強化や人材育成にも効果を有することを理解する。 ・受講者が持ち寄った実践事例をもとに、事例検討会を行うことで、事例検討会の進め方を習得する。
○	8 教科の概要	担当講師から講義を行っていただき、上記の到達目標に関連した講義、グループワークによる演習
○	9 授業方法	講義、演習
○	10 授業計画	講義、演習
	11 準備学習	
	12 教科書・参考書	
	13 注意事項	
	14 参照リンク	

注) ・「2 関連する研修目標」は、次のうち、関連のある目標を選んで記載すること。
 複数ある場合は、より関連の強い目標を一つ記載すること。

- ①本人主体の支援方法を理解すること
- ②事業所におけるサービス提供のプロセスとそこで果たすべきサービス管理責任者等の役割を理解すること
- ③支援提供職員及び関係機関と連携した支援方法を理解すること

【実践研修】 公表するシラバス

必須項目	項目	内容
○	1 教科名	サービス担当者会議と（自立支援）協議会の活用についてのまとめ
○	2 国が定める標準カリキュラム上の科目名	サービス担当者会議と（自立支援）協議会の活用についてのまとめ（演習）
	3 関連する研修目標	③支援提供職員及び関係機関と連携した支援方法を理解すること
○	4 担当講師名	富田 政義、加藤慎治、畠中道博
○	5 担当講師略歴	別紙17 参照
○	6 時間数	110 分
○	7 到達目標	・ サービス担当者会議や（自立支援）協議会に関する講義を踏まえ、多職種連携や地域連携の重要性、意義、ポイントについてグループワーク等による討議を通じて、連携のあり方についてまとめを行う。
○	8 教科の概要	担当講師から講義を行っていただき、上記の到達目標に関連した講義、グループワークによる演習
○	9 授業方法	講義、演習
○	10 授業計画	講義、演習
	11 準備学習	
	12 教科書・参考書	
	13 注意事項	
	14 参照リンク	

注) ・「2 関連する研修目標」は、次のうち、関連のある目標を選んで記載すること。
 複数ある場合は、より関連の強い目標を一つ記載すること。

- ①本人主体の支援方法を理解すること
- ②事業所におけるサービス提供のプロセスとそこで果たすべきサービス管理責任者等の役割を理解すること
- ③支援提供職員及び関係機関と連携した支援方法を理解すること

【更新研修】 公表するシラバス

必須項目	項目	内容
○	1 教科名	障がい者福祉施策の最新の動向
○	2 国が定める標準カリキュラム上の科目名	障がい者福祉施策（児童福祉施策）の最新の動向
	3 関連する研修目標	②事業所におけるサービス提供のプロセスとそこで果たすべきサービス管理責任等の役割を理解すること
○	4 担当講師名	北海道保健福祉部福祉局障がい者保健福祉課 担当職員
○	5 担当講師略歴	別紙17 参照
○	6 時間数	60分
○	7 到達目標	障がい者福祉施策及び児童福祉施策の最新の動向にを学び、利用者の制度的環境の変化を理解する。
○	8 教科の概要	北海道障がい者保健福祉課の担当職員から、上記の到達目標に関連した講義を行っていただく。
○	9 授業方法	動画による講義視聴、確認テスト
○	10 授業計画	講義 60分
	11 準備学習	
	12 教科書・参考書	
	13 注意事項	
	14 参照リンク	

注) ・「2 関連する研修目標」は、次のうち、関連のある目標を選んで記載すること。

複数ある場合は、より関連の強い目標を一つ記載すること。

- ①本人主体の支援方法を理解すること
- ②事業所におけるサービス提供のプロセスとそこで果たすべきサービス管理責任者等の役割を理解すること
- ③支援提供職員及び関係機関と連携した支援方法を理解すること

【更新研修】 公表するシラバス

必須項目	項目	内容
○	1 教科名	事業者としての自己検証
○	2 国が定める標準カリキュラム上の科目名	事業者としての自己検証（演習）
	3 関連する研修目標	②事業所におけるサービス提供のプロセスとそこで果たすべきサービス管理責任等の役割を理解すること
○	4 担当講師名	富田 政義、加藤慎治、畠中道博
○	5 担当講師略歴	別紙17 参照
○	6 時間数	90分
○	7 到達目標	・グループワークを通じて、各自の事業所の取組状況や地域との連携の実践状況を共有することにより、コンプライアンスを理解し、今後の事業所としての取組を明確にする。グループワークの成果を発表し、各自
○	8 教科の概要	担当講師から講義を行っていただき、上記の到達目標に関連した講義、グループワークによる演習
○	9 授業方法	講義、演習
○	10 授業計画	講義、演習
	11 準備学習	
	12 教科書・参考書	
	13 注意事項	
	14 参照リンク	

注) ・「2 関連する研修目標」は、次のうち、関連のある目標を選んで記載すること。

複数ある場合は、より関連の強い目標の一つ記載すること。

- ①本人主体の支援方法を理解すること
- ②事業所におけるサービス提供のプロセスとそこで果たすべきサービス管理責任者等の役割を理解すること
- ③支援提供職員及び関係機関と連携した支援方法を理解すること

【更新研修】 公表するシラバス

必須項目	項目	内容
○	1 教科名	サービス管理責任者としての自己検証
○	2 国が定める標準カリキュラム上の科目名	サービス管理責任者としての自己検証（演習）
	3 関連する研修目標	②事業所におけるサービス提供のプロセスとそこで果たすべきサービス管理責任等の役割を理解すること
○	4 担当講師名	富田 政義、加藤慎治、畠中道博
○	5 担当講師略歴	別紙17 参照
○	6 時間数	120 分
○	7 到達目標	・サービス管理責任者として自らを振り返り、自己覚知を促し、支援のあり方や地域との関わり方、今後の自らの取り組むべき研修課題を明確にする。グループワークにおける討議を通じて、各自まとめる。
○	8 教科の概要	担当講師から講義を行っていただき、上記の到達目標に関連した講義、グループワークによる演習
○	9 授業方法	演習
○	10 授業計画	演習
	11 準備学習	
	12 教科書・参考書	
	13 注意事項	
	14 参照リンク	

注) ・「2 関連する研修目標」は、次のうち、関連のある目標を選んで記載すること。

複数ある場合は、より関連の強い目標を一つ記載すること。

①本人主体の支援方法を理解すること

②事業所におけるサービス提供のプロセスとそこで果たすべきサービス管理責任者等の役割を理解すること

③支援提供職員及び関係機関と連携した支援方法を理解すること

【更新研修】 公表するシラバス

必須項目	項目	内容
○	1 教科名	関係機関との連携
○	2 国が定める標準カリキュラム上の科目名	関係機関との連携(演習)
	3 関連する研修目標	③支援提供職員及び関係機関と連携した支援方法を理解すること
○	4 担当講師名	富田 政義、加藤慎治、畠中道博
○	5 担当講師略歴	別紙17 参照
○	6 時間数	90 分
○	7 到達目標	・関係機関と連携した事例に基づき、支援方針の基本的な方向性や支援内容を左右する事項に重点を置いてグループワークを展開することにより、関係機関との連携を理解するとともに、（自立支援）協議会の役割を再認識する。
○	8 教科の概要	担当講師から講義を行っていただき、上記の到達目標に関連した講義、グループワークによる演習
○	9 授業方法	講義、演習
○	10 授業計画	講義【(自立支援)協議会について】、演習
	11 準備学習	
	12 教科書・参考書	
	13 注意事項	
	14 参照リンク	

注) ・「2 関連する研修目標」は、次のうち、関連のある目標を選んで記載すること。
 複数ある場合は、より関連の強い目標を一つ記載すること。

- ①本人主体の支援方法を理解すること
- ②事業所におけるサービス提供のプロセスとそこで果たすべきサービス管理責任者等の役割を理解すること
- ③支援提供職員及び関係機関と連携した支援方法を理解すること

【更新研修】 公表するシラバス

必須項目	項目	内容
○	1 教科名	サービス管理責任者等としてのスーパービジョン
○	2 国が定める標準カリキュラム上の科目名	サービス管理責任者等としてのスーパービジョン（講義）
	3 関連する研修目標	②事業所におけるサービス提供のプロセスとそこで果たすべきサービス管理責任者等の役割を理解すること
○	4 担当講師名	富田 政義、加藤慎治、畠中道博
○	5 担当講師略歴	別紙17 参照
○	6 時間数	180 分
○	7 到達目標	・ サービス管理責任者として、事例検討のスーパービジョン及びサービス提供職員等へのスーパービジョンに関する基本的な理解を深める。
○	8 教科の概要	担当講師から講義を行っていただき、上記の到達目標に関連した講義、グループワークによる演習
○	9 授業方法	講義
○	10 授業計画	スーパービジョンの目的、方法などの講義
	11 準備学習	
	12 教科書・参考書	
	13 注意事項	
	14 参照リンク	

注) ・「2 関連する研修目標」は、次のうち、関連のある目標を選んで記載すること。
 複数ある場合は、より関連の強い目標を一つ記載すること。

- ①本人主体の支援方法を理解すること
- ②事業所におけるサービス提供のプロセスとそこで果たすべきサービス管理責任者等の役割を理解すること
- ③支援提供職員及び関係機関と連携した支援方法を理解すること

【更新研修】 公表するシラバス

必須項目	項目	内容
○	1 教科名	事例検討のスーパービジョン
○	2 国が定める標準カリキュラム上の科目名	事例検討のスーパービジョン（演習）
	3 関連する研修目標	②事業所におけるサービス提供のプロセスとそこで果たすべきサービス管理責任者等の役割を理解すること
○	4 担当講師名	富田 政義、加藤慎治、畠中道博
○	5 担当講師略歴	別紙17 参照
○	6 時間数	60分
○	7 到達目標	・事例を通じて、支援のあり方、支援方針、支援の内容を検討し、優良な点や改善が必要な点について、グループワークによって明確化することによってスキルアップを図る。また事例について、スーパーバイズを体験する。
○	8 教科の概要	担当講師から講義を行っていただき、上記の到達目標に関連した講義、グループワークによる演習
○	9 授業方法	演習
○	10 授業計画	演習
	11 準備学習	
	12 教科書・参考書	
	13 注意事項	
	14 参照リンク	

注) ・「2 関連する研修目標」は、次のうち、関連のある目標を選んで記載すること。
 複数ある場合は、より関連の強い目標を一つ記載すること。

- ①本人主体の支援方法を理解すること
- ②事業所におけるサービス提供のプロセスとそこで果たすべきサービス管理責任者等の役割を理解すること
- ③支援提供職員及び関係機関と連携した支援方法を理解すること

【更新研修】 公表するシラバス

必須項目	項目	内容
○	1 教科名	サービス提供職員等へのスーパービジョン
○	2 国が定める標準カリキュラム上の科目名	サービス提供職員等へのスーパービジョン（演習）
	3 関連する研修目標	②事業所におけるサービス提供のプロセスとそこで果たすべきサービス管理責任者等の役割を理解すること
○	4 担当講師名	富田 政義、加藤慎治、畠中道博
○	5 担当講師略歴	別紙17 参照
○	6 時間数	120 分
○	7 到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ・ 事例を通じてサービス管理責任者等としてサービス提供職員等へ実施するスーパービジョンの構造や機能を理解し、具体的な技術を獲得する。 ・ 受講者が持ち寄った実践事例をもとに、事例検討会を行うことで、事例検討会の進め方を習得する。
○	8 教科の概要	担当講師から講義を行っていただき、上記の到達目標に関連した講義、グループワークによる演習
○	9 授業方法	演習
○	10 授業計画	演習
	11 準備学習	
	12 教科書・参考書	
	13 注意事項	
	14 参照リンク	

注) ・「2 関連する研修目標」は、次のうち、関連のある目標を選んで記載すること。
 複数ある場合は、より関連の強い目標を一つ記載すること。

- ①本人主体の支援方法を理解すること
- ②事業所におけるサービス提供のプロセスとそこで果たすべきサービス管理責任者等の役割を理解すること
- ③支援提供職員及び関係機関と連携した支援方法を理解すること

【更新研修】 公表するシラバス

必須項目	項 目	内 容
○	1 教科名	研修のまとめ
○	2 国が定める標準カリキュラム上の科目名	研修のまとめ（演習）
	3 関連する研修目標	②事業所におけるサービス提供のプロセスとそこで果たすべきサービス管理責任者等の役割を理解すること
○	4 担当講師名	富田 政義、加藤慎治、畠中道博
○	5 担当講師略歴	別紙17 参照
○	6 時間数	60分
○	7 到達目標	・研修で得られた知識・技術を活用して、サービス管理責任者としてのスキルアップを図る方策について、グループワークにおける討議を通じてまとめを行う。
○	8 教科の概要	担当講師から講義を行っていただき、上記の到達目標に関連した講義、グループワークによる演習
○	9 授業方法	演習
○	10 授業計画	演習
	11 準備学習	
	12 教科書・参考書	
	13 注意事項	
	14 参照リンク	

注) ・「2 関連する研修目標」は、次のうち、関連のある目標を選んで記載すること。
 複数ある場合は、より関連の強い目標を一つ記載すること。

- ①本人主体の支援方法を理解すること
- ②事業所におけるサービス提供のプロセスとそこで果たすべきサービス管理責任者等の役割を理解すること
- ③支援提供職員及び関係機関と連携した支援方法を理解すること